

教科	国語	単元名	「メディアと人間社会」 「大切な人と深くつながるために」
----	----	-----	---------------------------------

本時のねらい

- ・文と文との接続の関係、文章の構成や展開、筆者の表現方法について理解し、筆者の考えを支えるキーワードを読み取ることができる。
- ・「これからの社会の生き方」について、文章を読んだことに基づいて、キーワードに優先順位をつけ、その理由を説明することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・発表ノートに「ピラミッドチャート」を貼り付けたものを配付し、優先順位をつけながら、自分の考えを整理する。
⇒自分の考えをピラミッドチャートに整理することで、数多くある言葉から厳選して、キーワードを選ぶことができる。
⇒自分の考えと他者の考えを比べる時、順位の違いによって話し合いが深まったり、広がったりする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・スクリーン ・Sky Menu Classの発表ノート ・ピラミッドチャート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までに考えた「今の自分の考え」を再確認する。 ○めあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンに提示することで、一目で全員がどんなことを考えていたか、全員が同じ立場で課題に向かっているか確認できる。
展開 (35分)	<p style="text-align: center;">鴻上さんのキーワードに順位をつけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鴻上さんの文章からキーワードとなる言葉を探し出す。 ・探し出したキーワードをピラミッドチャートに整理し、順位をつける。 ○自分の考えを班で発表し、話し合いながら班の意見を新たなピラミッドチャートにまとめる。 ○各班のピラミッドチャートをスクリーンに掲示し、クラス全体で話し合いながら、キーワードを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピラミッドチャートに整理することで、より必要な言葉の優先順位が明確になり、それぞれの考えに違いが出やすくなる。 ・悩んでいる言葉を書いたり、やり直しをしたり、何度もくり返し考えることができる。 ・各班のピラミッドチャートを全体共有することで、各班の意見を引き出しながら、別の班へと意見を繋いでいくことができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○今回の授業で学んだことをふり返る。 	

1人1台端末を活用した活動の様子



キーワードとなる言葉をピラミッドチャートに整理している場面



自分の考えを発表し、話し合いながら班の意見をまとめている場面



各班から出てきた考えをもとに、全体で話し合っている場面

児童生徒の反応や変容

ピラミッドチャートを使用することで、根拠をもとに順位をつけ、自分の意見をまとめることができている。また、クラス全体で共有した時も自分の意見と他者の意見を比べながら考えることができている。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

思考ツールの活用は、児童の思考の流れや違いを視覚的にとらえることができ、それをもとにした交流活動につなげやすい。単元や授業でつけたい力を明確にし、それにせまるために必要な言語活動と対応させるように活用方法を検討していきたい。